

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～D組

使用教科書：（『新編 文学国語』（大修館書店））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 共感力や豊かな想像力を育むと共に考える力をも養い、他者との関わりの中で自らの考えを伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ力やその重要性を認識し、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養ったりしている。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活で必要とされる国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において共感力や豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	読書に親しむことで自己を見つめると共に、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 学 期	A そとみとなかみ 【知識及び技能】 文学には自身のものの見方や感じ方、考え方を豊かにするといった意義や効用があることについて理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえ内容や構成、展開、描写の仕方などを捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材を通じ、自分の生き方について考えを深めている。	・角田光代「そとみとなかみ」 ・OneNoteを活用した板書		○	【知識及び技能】 文学には自身のものの見方や感じ方、考え方を豊かにするといった意義や効用があることについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類や構成、展開、描写の仕方などを捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 題材を通じ、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○		11
	定期考査				○	○		1	
	C 一言で心をつかもう 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、選んだ題材に応じた情報を収集・整理し、自らが表現したいことを明確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を引きつける内容になるよう、表現を工夫して書こうとする。	・ことばでスケッチ①「一言で心をつかもう」 ・パワーポイントを活用したキャッチコピーの作成		○	【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、選んだ題材に応じた情報を収集・整理し、自らが表現したいことを明確に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を引きつける内容になるよう、表現を工夫して書こうとしている。		○	○	3
D 晴れた空の下で 【知識及び技能】 文学的な文章の読解を通じ、語感を磨き自らの語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方に着目することを通じ、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解することができる。	・江國香織「晴れた空の下で」 ・OneNoteを活用した板書		○	【知識及び技能】 文学的な文章の読解を通じ、語感を磨き自らの語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方に着目することを通じ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	○	○	○	8	
定期考査					○	○		1	
E 永訣の朝 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 詩への関心をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとする。	・宮沢賢治「永訣の朝」 ・OneNoteを活用した板書		○	【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 詩への関心をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	○	○		5	
F 山月記 【知識及び技能】	・中島敦「山月記」 ・OneNoteを活用した板書			【知識及び技能】 文学的な文章を読むことを通じて、日本の言語					



年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科： 地理歴史科 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書： （ 明解 歴史総合（帝国書院） ）

教科 地理歴史科 の目標： 歴史的思考力を通して、国際社会に主体的に生きる日本国民としての資質を身に着ける。

【知識及び技能】歴史における基本的な用語や事象についての理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】世界史的視野から、国際関係と我が国の近現代の歴史的展開を関連付けて説明できるようにする

【学びに向かう力、人間性等】身近な文化財から歴史的な事象を探求する能力を育成するとともに文化財保護の資質を涵養する。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史的な事象の背景について理解し、その知識を身に付ける。 近代の戦争を通じて国際的地位を高めた我が国の動向や国民の生活に与えた影響について理解し、その知識を身に付ける。	歴史的な事象の背景について考察し、表現する。 近代の戦争を通じて国際的地位を高めた我が国の動向や国民の生活に与えた影響について考察し、適切に表現する。	歴史的な事象の背景について関心を高め、意欲的に調べる。 近代の戦争を通じて国際的地位を高めた我が国の動向や国民の生活に与えた影響について関心を高め、意欲的に調べる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 東アジアの文明 【知識及び技能】 東アジアの国名、風土や人々について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアの風土や人々について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジアの風土や人々について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 東アジアの国名、風土や人々、歴史について知識を身につけさせる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 東アジアの国名、風土や人々について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアの風土や人々について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジアの風土や人々について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	2
	2 南・東南アジアの文明～南北アメリカの文明 【知識及び技能】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの国名、風土や人々について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの風土や人々について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの風土や人々について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 南・東南アジアの文明～南北アメリカの国名、風土や人々、歴史について知識を身につけさせる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの国名、風土や人々について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの風土や人々について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 南・東南アジアの文明～南北アメリカの風土や人々について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	8
	3 歴史と私たち、特質と資料、近代化と私たち 【知識及び技能】 身近な資料や取り扱い方について理解する。 歴史的な資料を読み解く。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な資料を読み解き、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的な資料について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 身近な資料や取り扱い方について理解させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 身近な資料や取り扱い方について理解している。歴史的な資料を読み解いている。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な資料を読み解き、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的な資料について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	7
	4 江戸時代の日本と結びつく世界 【知識及び技能】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて理解させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸時代の社会や江戸幕府の仕組みについて関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	7
定期考査				○	○	○	1
2 学期	5 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について基礎的な歴史的な事象と背景を理解させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 20世紀前半の世界と国際秩序の変化について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	7
	6 第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】 第一次世界大戦における歴史的な事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦における歴史的な事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦における歴史的な事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 第一次世界大戦における歴史的な事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について理解させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 第一次世界大戦における歴史的な事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦における歴史的な事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦における歴史的な事象の背景と、日本の対応及び大衆社会の変化について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	7
	7 日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 第二次世界大戦の展開と終結、戦後の新たな国際秩序について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦の展開と終結、戦後の新たな国際秩序について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦の展開と終結、戦後の新たな国際秩序について関心を高め、意欲的に調べる。	・指導事項 第二次世界大戦における歴史的な事象の背景と、戦後の新たな国際秩序について理解させる。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント ・一人1台端末の活用 調べ学習を取り入れる	【知識及び技能】 第二次世界大戦における歴史的な事象の背景と、戦後の新たな国際秩序について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦における歴史的な事象の背景と、戦後の新たな国際秩序について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦における歴史的な事象の背景と、戦後の新たな国際秩序について関心を高め、意欲的に調べている。	○	○	○	14
	定期考査				○	○	○



五日市 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書： （ 最新 数学Ⅱ （教研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察する能力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理、法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けることができる。	式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分、積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決することができる。	数学的活動を通して、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分、積分の考えにおける体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識して、それらの事象の草津に進んで活用しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数	
			知	思	態		
1 学期	A 単元 式と証明 【知識及び技能】 多項式の除法について理解するとともに、分数式の四則計算を行える。 【思考力、判断力、表現力等】 多項式を多項式で割った商と余りが計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式、恒等式について関心を持つ。	式と証明	【知識・技能】 3次の展開公式、二項定理、多項式の除法、分数式の計算、恒等式を理解しているか。 【思考・判断・表現】 多項式を多項式で割った商と余りを計算でき、それを $A=BQ+R$ の式に表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組んでいるか。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	B 単元 複素数と方程式 【知識及び技能】 2次方程式の解法、解の判別の方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 複素数の範囲で二次式が因数分解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 複素数について関心を持つ。	高次方程式	【知識・技能】 複素数、解の公式、解と係数の関係、剰余の定理、高次方程式の解法を理解しているか。 【思考・判断・表現】 解の公式を用いて解くことができる2次方程式を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組んでいるか。	○	○	○	23
定期考査			○	○		1	
2 学期	A 単元 三角関数 【知識及び技能】 三角関数について理解するとともに、三角関数のグラフを書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 相互関係の公式を用いて、他の三角関数を計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角関数について興味を持ち、理解しようとする。	三角関数	【知識・技能】 三角関数を理解しているか。 【思考・判断・表現】 魁の公式を用いて解くことができる2次方程式を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組んでいるか。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	B 単元 指数関数、対数関数 【知識及び技能】 指数関数、対数関数について理解するとともに、指数関数、対数関数のグラフを書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数を対数に、対数を指数に変換することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数、対数関数について興味を持ち、理解しようとする。	指数関数、対数関数	【知識・技能】 指数関数、対数関数を理解しているか。 【思考・判断・表現】 指数を対数に、対数を指数に変換することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組んでいるか。	○	○	○	24
定期考査			○	○		1	
3 学期	A 単元 微分、積分 【知識及び技能】 微分、積分について理解するとともに、各関数を適切に微分、積分することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 微分、積分の公式を用いて、導関数や原始関数を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 微分、積分について興味を持ち、理解しようとする。	微分、積分	【知識・技能】 微分、積分を理解し、計算できているか。 【思考・判断・表現】 有理関数について微分、積分を適切に計算できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味、関心を持って自ら数学に取り組んでいるか。	○	○	○	39
	定期考査			○	○		1
	合計						140

教科： 理科 科目： 化学基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 高校化学基礎（実教出版） ）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 日常生活を圍りつつ物質とその変化を理解し、科学的探究に必要な基本的技能を習得する。

【思考力 判断力 表現力】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性】 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 化学と人間生活 【知識及び技能】 化学が物質やその変化を対象とする学問であること、身近な現象との関連性の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な化学現象と化学との関連性の考察と判断。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物質や現象に対する興味関心の向上。	・指導事項 ①化学とは？②探究の取り組み、 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人1台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解する。物質の性質を調べる活動を通し科学的探究の方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の性質を調べるための科学的探究方法の提案や実験結果の科学的判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物質に注目し科学に対する興味・関心を高めることができる。	○	○	○	2
2 物質とその構成要素 【知識及び技能】 物質の構成や種類、原子や元素についての基礎知識の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の分離方法と身近な利用例についての関連性と考察。原子の電子配置と周期表との関連性の表現。 【学びに向かう力、人間性等】 物質に対する関心と探究する力の育成。	・指導事項 ①物質の分離 ②物質を構成する元素 ③元素の確認 ④物質の三態 ⑤原子のなりたち ⑥同位体とその利用 ⑦原子の電子配置 ⑧元素と周期表 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人1台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 混合物と純物質、単体と化合物の違いを理解している。混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的方法を身に付けている。粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係で状態が変化することを理解できる。原子構造と電子配置を理解し簡単なモデルで表せる。 【思考力、判断力、表現力等】 原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解できる。観察・実験を通して混合物、高純度、単体、化合物について考察し特徴を説明できる。粒子の熱運動と温度の関係や粒子に働く力の関係をもとに温度と物質の状態変化の関係を確に表現できる。原子の電子配置と周期表の族や周期との関係理解し周期性が見れる理由を的確に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質に関心をもち、その扱い方を理解しようとする。物質の構造や性質に関する事象について意欲的に探究しようとする。積極的に観察・実験を行い探究しようとする。	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1
3 化学結合I(イオン結合 金属結合) 【知識及び技能】 イオン結合、金属結合についての基礎知識の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 イオン、金属と身近な物質との関連性の考察と説明をする力の向上。 【学びに向かう力、人間性等】 原子・イオンに対する関心と探究する力の育成。	・指導事項 ①イオン ②イオン結合 ③イオンからなる物質 ④金属結合と金属結晶 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人1台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 イオンの成や電子配置と関連付けて理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解している。金属結合や金属結晶の性質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イオン結晶の性質をイオンやイオン結合にもとづいて説明できる。金属結晶の性質を金属結合にもとづいて的確に表現できる。物質の性質を調べる実験を通して化学結合と結晶の性質の関係を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質に関心をもち物質の取り扱い方を理解しようとする。物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、探究しようとする。物質が原子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。積極的に観察・実験を行い意欲的に探究しようとする。	○	○	○	7
4 化学結合II(共有結合・分子の極性) 【知識及び技能】 共有結合や極性についての基礎知識の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 共有結合のしくみについて、周期表や電気陰性度から考察・説明できる力の向上。 【学びに向かう力、人間性等】 分子や極性に対する関心と探究する力の育成。	・指導事項 ①共有結合 ②分子の極性 ③分子間に働く力 ④分子からなる物質 ⑤共有結合の結晶 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人1台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 共有結合を電子配置と関連付けて理解し、表し方や配位結合についての知識を身に付けている。電気陰性度や結合の極性を理解している。共有結合でできた物質の性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 分子の極性を電気陰性度や結合の極性、分子の形をもとに総合的に判断できる。観察・実験を通して分子の極性や分子からなる物質の性質の関係を考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質に関心をもち物質の取り扱い方を理解しようとする。物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、探究しようとする。物質が原子・分子などの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。積極的に観察・実験を行い意欲的に探究しようとする。	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1
5 原子量と物質質量 【知識及び技能】 原子量や分子質量、式量、その量的関係についての基礎知識や計算技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量の必要性や量的関係について考察し、考え方を表現する力の育成。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の量的関係に対する関心と探究する力の育成。	・指導事項 ①原子量 ②分子質量・式量 ③物質量と粒子の数 ④物質質量と質量 ⑤物質量と気体の体積 ⑥溶解と濃度 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人1台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 原子量、分子質量、式量を理解する。物質量が粒子の数にもとづき量であることを理解し、物質量と質量、気体の体積との関係も理解する。物質量を介し物質の質量や気体の体積を相互に変換できる。水溶液の濃度をモル濃度を用いて表したり濃度のわかっている水溶液中の溶質の物質量を計算によって求めたりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量とその量的関係を判断できる。観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成し、発表できる。実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い結果を化学的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。積極的に観察・実験を行い探究しようとする。	○	○	○	7
6 化学反応式と量的関係 【知識及び技能】 化学反応式と量的関係についての基礎知識および計算技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応式をもとにした量的関係の考察と考え方を表現する力の育成。実験結果のグラフ化と結果の化学的考察と結果を発表する力の育成。 【学びに向かう力、人間性等】 化学変化の量的関係と化学反応に対する興味関心の育成。	・指導事項 ①化学反応式 ②化学反応式の量的関係 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人1台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 化学反応を化学反応式を用いて表せる。物質量の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応式をもとに物質の量的関係を判断できる。実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い結果を化学的に考察できる。化学反応の量的関係の実験から考察した報告書を作成し、発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。積極的に観察・実験を行い探究しようとする。	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1
7 酸・塩基とその反応 【知識及び技能】 酸と塩基、酸性と塩基性、中和反応と塩についての基礎知識および計算技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 酸と塩基から成る中和反応の仕組みと量的関係について、その関連性について考察し、考え方を表現する力の育成。実験結果のグラフ化と結果の化学的考察と結果を発表する力の育成。 【学びに向かう力、人間性等】 酸・塩基、中和反応と身近な現象との関連性に対する興味関心の育成。	・指導事項 ①酸と塩基 ②酸・塩基の強弱 ③水素イオン濃度とpH ④中和の判定 ⑤中和と塩 ⑥中和の量的関係 ⑦中和滴定 ⑧中和滴定曲線 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人1台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 酸と塩基の定義を理解し強酸や強弱にもとづいた分類ができる。水溶液の性質と水素イオン濃度やpHとの関係を理解できる。中和反応、酸・塩基の水溶液の性質を理解できる。中和反応の量的関係を理解し酸と塩基の量的関係を計算によって求めることができる。中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 酸・塩基の実験から定義を理解し日常生活と関連付けて考察できる。学習課題に対して観察・実験や調査を計画・実施し、結果にもとづいて総合的に考察できる。中和滴定のもっているのかを理解し実験結果に対してどのような影響があるかを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 酸、塩基や中和反応に関心をもち、日常生活に関連付けて探究しようとする。酸と塩基の反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。積極的に観察・実験を行い意欲的に探究しようとする。	○	○	○	14
定期考査			○	○	○	1
8 酸化還元反応 【知識及び技能】 酸化還元反応についての基礎知識および計算技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応の仕組みと量的関係について、その関連性について考察し、考え方を表現する力の育成。実験結果のグラフ化と結果の化学的考察と結果を発表する力の育成。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化還元反応と身近な現象との関連性に対する興味関心の育成。	・指導事項 ①酸化と還元 ②酸化数 ③酸化剤と還元剤 ④金属のイオン化傾向 ⑤金属の反応性 ⑥電池 ⑦電気分解 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 実験器具 等 ・一人1台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 酸化・還元反応の定義を理解できる。酸化還元反応を酸化数の増減によって判断できる。酸化剤・還元剤の仕組を理解し半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができる。酸化還元反応の量的関係を理解できる。金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解している。酸化還元反応の利用例として電池や電気分解等があることを理解し電池の構成等の基本的知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応の観察から電子の授受としての規則性を見だし表現できる。実験を通して、酸化・還元反応の定義の有用性を理解したうえで事物・現象の中に共通性を見出し論理的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 燃焼や金属の腐食などの反応に興味をもち電子の授受という観点で意欲的に探究しようとする。酸化還元反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。積極的に観察・実験を行い意欲的に探究しようとする。	○	○	○	12
9 化学が拓く世界 【知識及び技能】 「化学基礎」での学習事項と日常生活・身近な科学技術と結びつきを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 「化学基礎」で学習事項と日常生活や社会での活用例の考察力と表現力の育成。 【学びに向かう力、人間性等】 「化学基礎」での学習事項と日常生活や社会との結びつきに対する興味関心の育成。	・指導事項 身近な物質について考える。 ・教材 教科書 問題集 iPad プリント 等 ・一人1台端末の活用 小テストや復習教材の配信 等	【知識及び技能】 「化学基礎」で学んだ事柄が、日常生活や社会を支える科学技術と結びついていることが理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会でどのように活かされているかを教科書の題材以外にも範囲を広げて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目し、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	1
定期考査			○	○	○	1
						合計
						70

【知識及び技能】自然の事物・現象に対する理科の見方・考え方を働かせ、基本的な知識と技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】科学的な見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、探究する能力と態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物理的な現象についての観察、実験などを行うことを通して、物理に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付ける。	物理的な現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育まれる。	物理的な現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
直線運動の世界 【知識及び技能】 運動の表し方、相対速度、及び等加速度直線運動に関する基本的な概念や公式を理解し、運動を解析する方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 等加速度直線運動をもとにして、多くの複雑な運動の理解に至ることを知り、運動の多様性と簡単な解析の方法を習得し、考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の様々な物体の運動に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。それらの運動を理解する端緒としての直線上の運動に対して関心を抱き、運動の表し方・重力による運動に対して意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 速さ 速度 等速直線運動 合成速度と相対速度 加速度 等加速度直線運動 自由落下 鉛直投射 放物運動 ・教材 教科書 力学台車セット NHK高校講座 一人1台端末の活用 iPad	【知識・技能】 ・直線運動の定性的なことを説明できる ・直線運動の定量的なことを理解している。 ・観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、直線運動が関わる様々な物理現象を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・直線運動に関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。 ・直線運動を物理学的な観点から考えようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
力と運動の法則 【知識及び技能】 物体にはたらくている力を正しく見だし、運動方程式を立てられる。また、つり合いの2力と作用・反作用を正しく区別できる。 さらに、重力による加速度をもつ落下運動についても正しく理解している。 摩擦力、及び液体や気体から受ける力（圧力、浮力、抵抗力）について理解している。それらがはたらくときの物体の運動を分析できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 日常に見られる運動や力のはたらくから様々な種類の力の概念を見だし、力の性質や運動との関わりについて考察ができる。また、これらに関する観察・実験を通して、運動の3法則の理解を深め、身の回りに生じる様々な現象に対して正しく解析し、判断できる。 いろいろな力のはたらくときの運動について、グラフを活用しながら分析し、そのときの力と運動の関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 力のはたらく・性質と運動との関係について、日常に見られる様々な運動等を通して関心を持ち、科学的に探究しようとする。身の回りで見られる様々な運動に関心を持ち、科学的に探究しようとする。	・指導事項 力とは 力のつり合い 力の合成と分解 作用・反作用の法則 慣性の法則 力と質量と加速度の関係 運動の法則 摩擦力 抵抗力と浮力 ・教材 教科書 NHK高校講座 一人1台端末の活用 iPad	【知識・技能】 ・力と運動の法則の定性的なことを説明できる ・力と運動の法則の定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、力と運動の法則が関わる様々な物理現象を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力と運動の法則に関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。 ・力と運動の法則を物理学的な観点から考えようとしている。	○	○	○	16
仕事とエネルギー 【知識及び技能】 仕事・仕事の原理・仕事率・エネルギーという基本的な概念を理解し、力学的エネルギー保存の法則について成立条件を含めて正しく知識を身に付け、活用できる。	・指導事項 仕事 仕事の原理と仕事率 運動エネルギー 重力による位置エネルギー 弾性力による位置エネルギー 力学的エネルギーの保存	【知識・技能】 ・仕事とエネルギーの定性的なことを説明できる ・仕事とエネルギーの定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。				

1  
学期

	<p>【思考力、判断力、表現力等】 物理での仕事と日常経験している仕事との相違について思いを巡らせ、物理による仕事の定義から導かれる結論を通して、身近な道具について仕事の原理から説明できる。さらに、力学的エネルギーとその保存の法則を使いこなして予測活動ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 エネルギー概念と仕事について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。また、力学的エネルギー保存の法則の有用性を知り、その法則をいろいろな運動を分析するために活用しようとする。</p>	<p>いろいろな運動で見る力学的エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書</li> <li>NHK高校講座</li> <li>一人1台端末の活用 iPad</li> </ul>	<p>【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、仕事とエネルギーが関わる様々な物理現象を説明できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・仕事とエネルギーに関心を持ち、それを意欲的に調べようとしている。 ・仕事とエネルギーを物理学的な観点から考えようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>仕事とエネルギー</p> <p>【知識及び技能】 熱・熱平衡・比熱・熱容量・温度・ジュール熱・電力・内部エネルギー・熱機関・熱効率・エネルギー保存の法則等の基本について理解し、法則・公式を活用できる。</p> <p>また、エネルギー収支についても考えが及び、科学の進歩によってより低密度のエネルギーの利用が可能になりつつあることを知識として身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 原子論的立場から熱と温度と熱運動について実証的・総合的に考察できる。また、エネルギーの変換に関する実験を行い、エネルギーについて考察するとともに、熱現象の不可逆性の観点から、エネルギーの有効活用について思考し、省エネルギーのための方法を判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 熱・温度・エネルギーの関係について関心を持ち、意欲的に探究している。また、様々なエネルギーの種類と変換について関心を持ち、人類が利用してきたエネルギーの種類と大量消費について探究しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>仕事</li> <li>仕事の原理と仕事率</li> <li>運動エネルギー</li> <li>重力による位置エネルギー</li> <li>弾性力による位置エネルギー</li> <li>力学的エネルギーの保存</li> <li>いろいろな運動で見る力学的エネルギー</li> <li>教材</li> <li>教科書</li> <li>NHK高校講座</li> <li>一人1台端末の活用 iPad</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・仕事とエネルギーの定性的なことを説明できる ・仕事とエネルギーの定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、仕事とエネルギーが関わる様々な物理現象を説明できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・仕事とエネルギーに関心を持ち、それを意欲的に調べようとしている。 ・仕事とエネルギーを物理学的な観点から考えようとしている。</p>	○	○	○	6
2学期	<p>熱</p> <p>【知識及び技能】 熱・熱平衡・比熱・熱容量・温度・ジュール熱・電力・内部エネルギー・熱機関・熱効率・エネルギー保存の法則等の基本について理解し、法則・公式を活用できる。</p> <p>また、エネルギー収支についても考えが及び、科学の進歩によってより低密度のエネルギーの利用が可能になりつつあることを知識として身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 物理での仕事と日常経験している仕事との相違について思いを巡らせ、物理による仕事の定義から導かれる結論を通して、身近な道具について仕事の原理から説明できる。さらに、力学的エネルギーとその保存の法則を使いこなして予測活動ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 エネルギー概念と仕事について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。また、力学的エネルギー保存の法則の有用性を知り、その法則をいろいろな運動を分析するために活用しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>熱と温度</li> <li>物質の三態</li> <li>熱の移動と保存</li> <li>熱と仕事</li> <li>熱効率と不可逆変化</li> <li>教材</li> <li>教科書</li> <li>NHK高校講座</li> <li>一人1台端末の活用 iPad</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・熱の定性的なことを説明できる ・熱の定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、熱が関わる様々な物理現象を説明できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・熱に関心を持ち、それを意欲的に調べようとしている。 ・熱を物理学的な観点から考えようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>波</p> <p>【知識及び技能】 波動に関する事象・現象についての基本的な概念を形成できていること。また、それらを支配している基本的な原理や法則を観察・実験などを通して理解し、知識を応用して説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>いろいろな波</li> <li>波の伝わり方</li> <li>波を表す</li> <li>波の重ね合わせ</li> <li>定常波</li> <li>波の反射</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・波の定性的なことを説明できる ・波の定量的なことを理解している。 観察・実験などを行い、論理的な思考をもって考察・処理できる方法を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・物理学的な見方や考え方を認識し、波が関わる様々な物理現象を説明できる</p>				



	<p>識を身につけている。</p> <p>音が疎密波であることや、共振（共鳴）や定常波について理解し、楽器の原理を量的関係で捉えることができる。さらに、建物や橋などの地震対策が共振と関係していることを知る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>波動に関する基本的な観察・実験の技能を習得するとともに、その結果について考察し的確に表現できる。</p> <p>弦楽器・管楽器の実験・観察を通して、定常波・共振・共鳴等に関する実験技能を習得し、得られた結果をグラフなどを使って分析できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>身の回りの波動現象に関心を持ち、それらの性質に関する現象に対して意欲的・科学的に探究する態度を身につけようとしている。</p> <p>音波の特徴や性質・伝わり方、及び楽器の原理に関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。</p>	<p>身の伝わり方</p> <p>振動する弦</p> <p>振動する期中</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>NHK高校講座</p> <p>一人1台端末の活用</p> <p>iPad</p>	<p>わる様々な物理現象を説明できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・波に関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。</li> <li>・波を物理学的な観点から考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>電気</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>電気や磁気に関する現象について、それらの基本的な概念を形成しているとともに、電流と磁界の相互作用によるエネルギー変換がモーターや発電機に利用されていることを理解している。また、発電所でつくられ利用されている交流の概念と利点を理解している。さらに、光や放射線を含めた電磁波の基本的な性質と種類についての知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>家庭用電気機器をはじめ動力や通信機器等、個々の機器における電気・磁気の利用のされ方と性質の関係を的確に判断できる。</p> <p>身の回りの現象や機器で電磁波がどのように利用されているかを見いだすことができる。また、電波・放電が電気・磁気のことの性質と関連しているかを理解し、考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>今日の人間生活における電気・磁気との関わりに興味・関心を抱き、電気・磁気の基本的な性質と使われ方について意欲的に探究しようとする。</p> <p>発電所でつくられる電力や、光や放射線を含む様々な電磁波を効率的かつ安全に使う方法について関心を持ち、自ら実践しようとする態度を身につけようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>動かない電気、動く電気</p> <p>電流と電気抵抗</p> <p>直列接続と並列接続</p> <p>電力と電力量</p> <p>電流がつくる磁場</p> <p>発電機のしくみ</p> <p>直流と交流</p> <p>電磁波</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>NHK高校講座</p> <p>一人1台端末の活用</p> <p>iPad</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気の定性的なことを説明できる</li> <li>・電気の定量的なことを理解している。</li> </ul> <p>観察・実験などを行い、論理的な思考をもつて考察・処理できる方法を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学的な見方や考え方を認識し、電気が関わる様々な物理現象を説明できる</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気に関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。</li> <li>・電気を物理学的な観点から考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
	<p>エネルギー</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>人類が利用可能な様々なエネルギーの特性や利用について理解している。特に、原子力の利用とそれに伴うリスクについて知るとともに、放射線の種類と特性、及び人体や環境への影響について理解し、ベクレルやシーベルトの単位を用いて定量的に見積もることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>様々なエネルギーや放射能に関するデータについて、その妥当性、信頼性、客観性を科学的に考察し、判断することができる。</p> <p>放射線や放射能の被曝から身を守るための対処法について理解し、判断できる。</p> <p>エネルギー問題や原子力の利用について、科学的根拠に基づいて自分の意見を述べることができ、仲間と議論しながら一緒に考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>近い将来に直面するであろうエネルギー問題について関心を持ち、その解決のために必要とされる基本的な科学知識や態度を身につけようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>エネルギーの変換と保存</p> <p>エネルギーの利用</p> <p>放射線の利用</p> <p>原子力の利用</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>NHK高校講座</p> <p>一人1台端末の活用</p> <p>iPad</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーの定性的なことを説明できる</li> <li>・エネルギーの定量的なことを理解している。</li> </ul> <p>観察・実験などを行い、論理的な思考をもつて考察・処理できる方法を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学的な見方や考え方を認識し、エネルギーが関わる様々な物理現象を説明できる</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーに関心をもち、それを意欲的に調べようとしている。</li> <li>・エネルギーを物理学的な観点から考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
	定期考査				○	○	
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～D組

使用教科書：（大修館書店 Active Sports2021）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身に付け

【思考力、判断力、表現力等】個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。

【学びに向かう力、人間性等】運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動をしようとする。また、健康や

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
							時数
1 学期	○体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ ・よりよいマナーや行為（所作）について自己の活動を振り返る	○	○	○	4
	○体力テスト	・体力テスト項目	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ				4
	○陸上競技	・短距離走、長距離走 ・走り幅跳び ・やり投げ	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ				6
	○球技	・バドミントン（ネット型）	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ ・よりよいマナーや行為（所作）について自己の活動を振り返る				4
	○水泳	・クロール 泳法 ・平泳ぎ 泳法	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ ・よりよいマナーや行為（所作）について自己の活動を振り返る				4
	○体育理論	・スポーツの歴史、文化的特性 現代のスポーツの特徴	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ ・よりよいマナーや行為（所作）について自己の活動を振り返る				2
2 学期	○体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ ・よりよいマナーや行為（所作）について自己の活動を振り返る	○	○	○	2
	○水泳	・各種計測（クロール・平泳ぎ）	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ				4
	○陸上競技	・持久走	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ				10
	○球技	・サッカー（ゴール型）	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ				4
	○ダンス	・基本的な動きの確認 ・発表構成計画・練習	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ ・よりよいマナーや行為（所作）について自己の活動を振り返る				4
	○体育理論	・スポーツの歴史、文化的特性 現代のスポーツの特徴	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ ・よりよいマナーや行為（所作）について自己の活動を振り返る				2
3 学期	○体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ ・よりよいマナーや行為（所作）について自己の活動を振り返る	○	○	○	2
	○球技	・サッカー（ゴール型）	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ				8
	○ダンス	・発表に向けて ・発表会	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ				8
	○体育理論	・スポーツの歴史、文化的特性 現代のスポーツの特徴	【知識及び技能】 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解している ・技術（技）の名称や行い方を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える。 ・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ ・よりよいマナーや行為（所作）について自己の活動を振り返る				2
							合計
							70

五日市高等学校令和5年度 教科：保健体育 科目：保健 年間授業計画

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1単位

対象学年組：第2学年A組～D組

使用教科書：(現代高等保健体育(大修館)アクティブスポーツ2022)

使用教材：(学習ノート、ワークシート、タブレット)

指導内容	科目保健の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
生涯を通じる健康  ○ライフステージと健康		○【知識及び技能】 定期考査	4
	ライフステージと健康関連について説明できる	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	
	各ライフステージで活用できる社会からの支援にいて考えることができる		
		○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況(各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等)	
○性意識と性行動  ○思春期と健康	思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。	○【知識及び技能】 定期考査	4
	思春期の心の発達に関わって起こる問題について考えることができる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況  ○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況(各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等)	
○妊娠出産  ○避妊と人工妊娠中絶	・妊娠・出産の過程における健康課題や母子保健サービスについて理解できる。	○【知識及び技能】 定期考査	4
	・家族計画の意義と適切な避妊法について理解できる。	○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況  ○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況(各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等)	
	期末考査  1学期の授業の内容をしっかりと理解させる。	○【知識及び技能】 定期考査  ○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況	4

1  
学期

指導内容	科目保健の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
		○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	
○結婚生活と健康  ○中高年期と健康  ○働くことと健康	・心身と発達と結婚生活の関係について理解できる。  ・年を取ることにともなう心身の変化には、どのようなものがあるか理解できる。  ・労働者の健康問題と労働災害の防ぎ方について理解できる。	○【知識及び技能】 定期考査  ○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況  ○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	2
○労働災害と健康  ○健康的な職業生活	・労働災害の種類とその原因について説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。  職場が行う健康に関する取り組みについて説明できる。	○【知識及び技能】 定期考査  ○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況  ○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	4
○大気汚染と健康  ○水質汚濁 土壌汚染と健康	大気汚染の原因と健康への影響について理解できる。  水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。  大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	○【知識及び技能】 定期考査  ○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況  ○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	4
期末考査	期末考査	○【知識及び技能】 定期考査  ○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況  ○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	3

2  
学  
期

指導内容	科目保健の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
		授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	
○ごみ処理と上下水道の整備	<p>・ごみの処理の現状やその課題について理解できる。</p> <p>上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。</p>	<p>○【知識及び技能】 定期考査</p> <p>○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況</p> <p>○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）</p>	4
<p>○食品の安全</p> <p>○食品衛生に関わる活動</p> <p>○保健サービスとその活用</p>	<p>食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。</p> <p>食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について理解できる。</p> <p>食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。</p> <p>保健行政の役割について説明できる。</p>	<p>○【知識及び技能】 定期考査</p> <p>○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況</p> <p>○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）</p>	4
		<p>○【知識及び技能】 定期考査</p> <p>○【思考力、判断力、表現力等】 ワークシート・授業カード・レポート等の記述内容、授業での取り組み状況</p> <p>○【学びに向かう力、人間性等】 授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）</p>	2
		授業での取り組み状況（各種目の取り組み方法の工夫、欠席・見学・遅刻状況等）	合計
			35

3  
学  
期





<p>の原稿をもとにやりとりをすることができるようになる。</p> <p>・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ、聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができる。</p> <p>【コーパス 1800】 英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。</p> <p>【瞬間英作文】 英文を構造を理解した上で、日本語を見て、組み立て、正確に発音できるようにする。</p>	<p>【瞬間英作文】 Part2 Lesson 13-17</p>	○	○	○	○	○	<p>本単元で扱う話題について興味をもち、簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ、聞いたことをふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができている。</p>	○	○	○	<p>合計</p> <p>140</p>
---	-----------------------------------	---	---	---	---	---	--	---	---	---	----------------------



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書： （ 『家基705家庭基礎 気づく力 築く未来』 実教出版 ）

教科 家庭

の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 これからの人生について考えてみよう ・「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。 ・ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 ・自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。	・ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考える。 ・今の自分について自己分析を行い、未来予想図を描く。	【知識・技能】自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	4
	第6章 食生活をつくる ・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・健康で豊かな食生活をはぐくむための気づきや工夫を理解する。 ・調理実習①	・食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づく。 ・ライフステージごとの食生活の特徴を学ぶ。	【知識・技能】食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 【思考・判断・表現】自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	○	○	○	4
	・人生設計に必要な要素を理解する。 ・自分の将来とこれからの社会について考えることができるようにする。	・人生をデザインするうえで必要な準備を考え、シミュレーションする。 ・こんにちの社会背景を踏まえて、具体的に生涯にわたる生活設計を考える。	【知識・技能】自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題を見つけることができる。 【思考・判断・表現】自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。	○	○		4
	第7章 衣生活をつくる ・人はなぜ衣服を着るのか理解する。 ・衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。 ・だれもが快適な衣生活を送るための要因を理解する。	・季節ごとの着こなしについて考える。 ・衣服の起源や歴史、風土に適した衣服について知り、人はなぜ衣服を着るのか考える。 ・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。	【知識・技能】基本的な裁縫技術を身につけペンケースを完成することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。	○		○	8
	・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。	・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。	【知識・技能】栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って、知識を深めようとしている。	○		○	7
定期考査				○	○		1
	第2章 自分らしい生き方と家族 ・結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。	・「家族」の条件とは何か考える。 ・家族のライフイベントについて考える。 ・家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。	【知識・技能】結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめることができる。	○	○	○	6



年間授業計画

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科: 総合的な探究の時間 科目: 総合的な探究の時間

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組 ~ D 組

使用教科書: ( 無し )

教科 総合的な探究の時間 の目標:

- 【知識及び技能】 地域及び自己についての見聞を広げたり、それを理解することができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自分の調べたことや考えが的確に伝わるよう、適切な手段を選んだり、表現を工夫することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地域や自己の進路について主体的に調べ、考えを深めようとする。

科目 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域及び自己についての見聞を広げたり、それを理解している。	自分の調べたことや考えが的確に伝わるよう、適切な手段を選んだり、表現を工夫している。	地域や自己の進路について主体的に調べ、考えを深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 鎌倉のツアープランづくり 【知識及び技能】 校外学習先についての情報収集を通じ、その地域性や特色について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 魅力的に感じられるような旅のプランを発表するために、表現や発表ツールを工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 校外学習先について自ら進んで調べ、魅力的なツアープランを発信しようとする。	・iPadを用いた調べ学習 ・パワーポイント作成 ・原稿作成	【知識・技能】 校外学習先についての情報収集を通じ、その地域性や特色について理解している。 【思考・判断・表現】 魅力的に感じられるような旅のプランを発表するために、表現や発表ツールを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 校外学習先について自ら進んで調べ、魅力的なツアープランを発信しようとしている。	○		○	10
	B 地域の課題発見 【知識及び技能】 地域が抱える課題について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域が抱える課題としてどのようなものが考えられるかの予測を立て、調べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学校近隣地域が抱える課題について自ら考え、調べて発信しようとする。	・iPadを用いた調べ学習 ・パワーポイント作成 ・原稿作成	【知識・技能】 地域が抱える課題について理解している。 【思考・判断・表現】 地域が抱える課題としてどのようなものが考えられるかの予測を立て、調べている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学校近隣地域が抱える課題について自ら考え、調べて発信しようとしている。			○	10
	C オープンキャンパス事前学習 【知識及び技能】 自らの進路選択をするにあたって必要な情報を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 大学・専門学校や就職など、自らの進路についての大まかな道筋を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 講演や分科会に主体的な姿勢で臨み、自らの進路について真摯に考えようとする。	・専門学校等の方による講演等	【知識・技能】 自らの進路選択をするにあたって必要な情報を把握している。 【思考・判断・表現】 大学・専門学校や就職など、自らの進路についての大まかな道筋を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 講演や分科会に主体的な姿勢で臨み、自らの進路について真摯に考えようとしている。	○		○	4
2 学 期	A 進路調べ学習 【知識及び技能】 3つの進学先や就職先についての情報を調べ、それらを整理し把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自身が何を基準にして進学先や就職先を選びたいのかを考え、それを文章で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 調べ学習やレポート作成に主体的な姿勢で臨み、自らの進路について真摯に考えようとする。	・三系統の進路希望(大学・短大、専門学校、就職)ごとに分かれ、3つの進学先や就職先について調べる。 ・調べた進学先や就職先を比較・検討し、それをもとにレポートを作成する。	【知識・技能】 3つの進学先や就職先についての情報を調べ、それらを整理し把握している。 【思考・判断・表現】 自身が何を基準にして進学先や就職先を選びたいのかを考え、それを文章で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 調べ学習やレポート作成に主体的な姿勢で臨み、自らの進路について真摯に考えようとしている。			○	8
	B 羽田・浅草周辺地域魅力紹介 【知識及び技能】 校外学習先についての情報収集を通じ、その地域性や特色について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 魅力的に感じられるような旅のプランを発表するために、表現や発表ツールを工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 校外学習先について自ら進んで調べ、魅力的なツアープランを発信しようとする。	・iPadを用いた調べ学習 ・パワーポイント作成 ・原稿作成	【知識・技能】 校外学習先についての情報収集を通じ、その地域性や特色について理解している。 【思考・判断・表現】 魅力的に感じられるような旅のプランを発表するために、表現や発表ツールを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 校外学習先について自ら進んで調べ、魅力的なツアープランを発信しようとしている。	○		○	8
	C 地域活性化アイデア発表 【知識及び技能】 地域が抱える課題に対し、その解決策となる手だてについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な地域活性化のための手だてを考え、検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域活性化のために何ができるかを自ら考え、積極的に提案・発信しようとする。	・iPadを用いた調べ学習 ・パワーポイント作成 ・原稿作成	【知識・技能】 地域が抱える課題に対し、その解決策となる手だてについて理解している。 【思考・判断・表現】 具体的な地域活性化のための手だてを考え、検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域活性化のために何ができるかを自ら考え、積極的に提案・発信しようとしている。			○	10

3 学 期	A 修学旅行事前学習 <b>【知識及び技能】</b> 修学旅行先の歴史的背景や特性について学 び、理解することができている。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 事前学習を通じて感じたこと、考えたこと を自身の言葉で表現することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 修学旅行先の地域について自ら積極的に学 び、理解を深めようとする。	・ iPadを用いた調べ学習 ・ パワーポイント作成 ・ 原稿作成	<b>【知識・技能】</b> 修学旅行先の歴史的背景や特性について学 び、理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> 事前学習を通じて感じたこと、考えたことを 自身の言葉で表現している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 修学旅行先の地域について自ら積極的に学 び、理解を深めようとしている。	○	○	20
						合計
						70